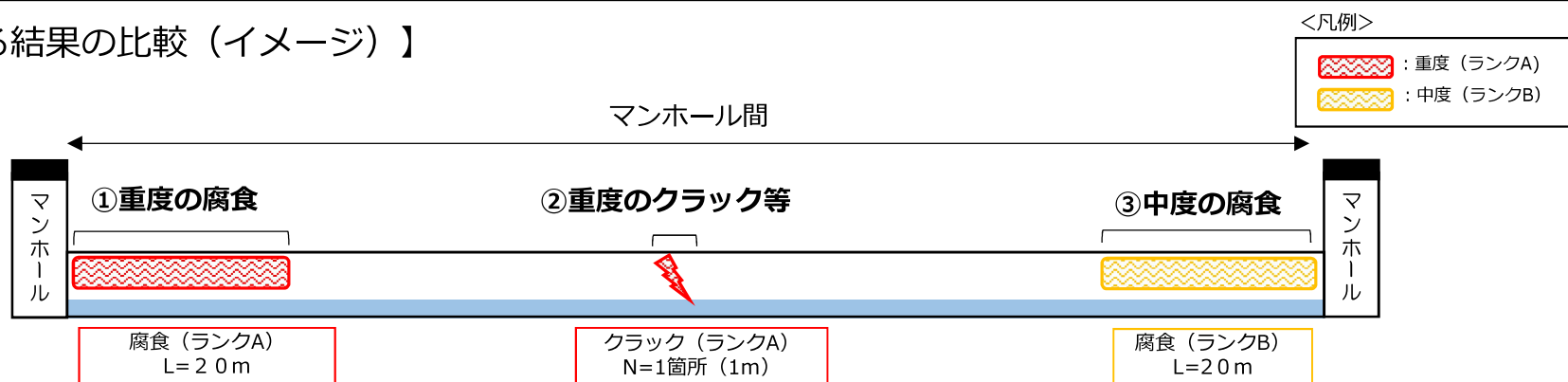


下水道管路の全国特別重点調査（優先実施箇所）の要対策延長について 2025.11.28 下水道課

- 9月17日に公表した調査結果について、対策工法等の検討とともに精査したところ、真に速やかな対応が必要な **緊急度Ⅰの要対策延長は、約2.1km**となりました。（公表時は約10.5km）
- 県では、**精査後の約2.1kmについて、優先的に対策を実施し、早期の対策完了を目指します。**
- 公表時との差約8.4kmについては、緊急度Ⅰの対策完了後、速やかに着手し、5年以内の完了を目指します。

【精査による結果の比較（イメージ）】



【計上の考え方】

公表時

マンホール間を一連区間として、重度の損傷（ランクA）と中度の損傷（ランクB）を緊急度Ⅰとして全て計上

精査後

真に速やかな対応が必要な重度な損傷（ランクA）のみを計上

計上方法の比較（上図の場合）

	公表時 (①+②+③)	精査後 (①+②)
①腐食 A (20m)	○	○
②クラック A (1m)	○	○
③腐食 B (20m)	○	×
合 計	41m	21m